

公開講演会

言語学的・文体論的アプローチの再導入 — フランス十九世紀文学の場合

(L'approche linguistique et stylistique en littérature : quels enjeux ?
Le cas de la littérature française du XIXème siècle)

(フランス語・通訳付き・入場無料)

日時：2026年2月28日（土） 15:00～17:00

場所：立教大学池袋キャンパス 4号館 4341教室

講師：フランス・ペレグリーニ（ボルドー・モンテーニュ大学准教授）

Florence Pellegrini (Université Bordeaux Montaigne)

司会：菅谷憲興（立教大学文学部教授）

通訳：平澤暢之（日本学術振興会特別研究員 PD）

お問い合わせ：菅谷憲興 (noriokis@rikkyo.ac.jp)

主催:立教大学文学部文学科フランス文学専修

共催:科学研究費基盤研究(C)「フローベール『ブヴァールとペキュシェ』における小説とアーカイブの関連の研究」(研究代表者・菅谷憲興)

